【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】平成29年1月19日(2017.1.19)

【公開番号】特開2016-202264(P2016-202264A)
【公開日】平成28年12月8日(2016.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2016-067
【出願番号】特願2015-83800(P2015-83800)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月26日(2016.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の始動条件の成立に基づいて遊技が進行される遊技機であって、
移動可能に設けられ、特定位置に位置しうる特定移動体と、
前記特定移動体が位置しうる前記特定位置の後側にて設けられる後側部材と
を備え、
前記特定移動体は、
前記特定位置から移動するとき、該特定位置から所定距離だけ離れるまでの所定の可動
範囲においては、他の可動範囲において移動するときよりも早い速度で移動可能とされる
ように設けられる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：所定の始動条件の成立に基づいて遊技が進行される遊技機であって、
移動可能に設けられ、特定位置に位置しうる特定移動体と、
前記特定移動体が位置しうる前記特定位置の後側にて設けられる後側部材と
を備え、
前記特定移動体は、
前記特定位置から移動するとき、該特定位置から所定距離だけ離れるまでの所定の可動
範囲においては、他の可動範囲において移動するときよりも早い速度で移動可能とされる
ように設けられる
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記構成によれば、後側部材（明細書では、後端装飾物ユニット3700に相当）による所定の演出を実行するにあたり、その前側に位置される特定移動体（明細書では、液晶装飾部材3630に相当）に対して当該後側部材が少しでも速く視認可能とされるような動きを持たせるようにしたことから、演出の移り変わりに時間を要してしまうようなことが抑制されうるようになる（段落0430～0432を参照）。